

伐採・移植に伴う樹林率減少の制限設定について

1 樹林率の回復について

公園における樹林率の想定増加率を3.5%/年とすると、伐採・移植に伴って減少した樹林率が10年間で元に戻る範囲は現況の3割程度までと考えられる。

表1

経過年数	当初に対する樹林率増加率	回復可能範囲	経過年数	当初に対する樹林率増加率	回復可能範囲
1	0.035	3.4%	6	0.229	18.7%
2	0.071	6.7%	7	0.272	21.5%
3	0.108	10.0%	8	0.316	24.1%
4	0.147	12.9%	9	0.362	26.7%
5	0.187	15.9%	10	0.410	29.2%

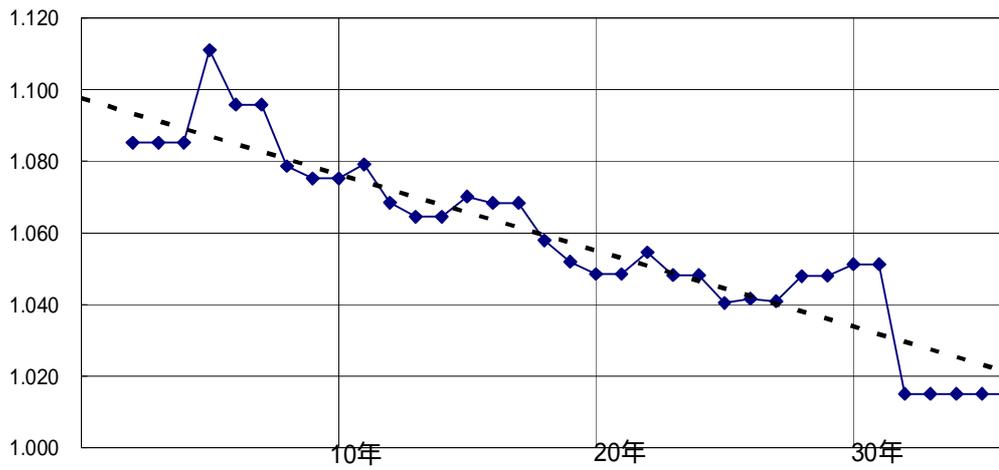
2 樹林率の想定増加量について

表2に示す14公園について、航空写真から昭和60年、平成4年、平成14年の各年の樹林率を算出した。各公園毎に昭和60年から平成4年及び平成4年から平成14年の樹林率の増加量を算出し、そこからべき乗計算し年平均増加量を計算した。さらに、公園の開設年から経過年数毎に整理し、経過年数による各公園の年平均増加率の平均を取り図1のようなグラフを作成し、更に同図の点線の回帰直線を作成した。

公園の再整備については開設後20年以上を経過した公園で行っており、上記のように10年後の予測を行なうために、開設後30年後の樹林率増加率の3.5%を使用し計算することとした。

表2 各公園における樹林率増加状況

公園名 告示年月	面積	航空写真調査結果			樹冠増加率	
		上段:経過年数	下段:樹冠面積	H14	上段:期間内下段:年平均	S60~H4 H4~H14
		S60	H4	H14	S60~H4	H4~H14
やちだも公園 S41.4	6,323	19	26	36	1.0589	1.0679
いびき公園 S41.10	2,133	2463	2608	2785	1.0082	1.0066
宮の森くまのこ公園 S46.11	1,547	819	981	1239	1.0261	1.0236
篠路駅前公園 S48.1	3,856	14	21	31	1.4875	3.2017
宮の森こたま公園 S49.3	4,568	160	238	762	1.0584	1.1234
栄町ボブラ公園 S50.3	2,175	12	19	29	1.0715	1.4595
養寒しらかば公園 S52.3	6,812	979	1049	1531	1.0099	1.0385
山の手北新公園 S53.1	2,997	11	18	28	2.0361	1.5920
東くるみ公園 S53.1	2,357	526	1071	1705	1.1069	1.0476
緑ヶ丘みなみ公園 S55.3	2,722	10	17	27	2.0812	1.0606
東川下かけす公園 S55.3	2,197	357	743	788	1.1104	1.0059
北31条花ぞの公園 S56.3	2,114	8	15	25	1.4145	1.3859
あいの里めだか公園 S63.3	2,483	784	1109	1537	1.0508	1.0332
屯田とんぼ公園 H3.3	2,000	7	14	24	1.5395	1.8316
		621	956	1751	1.0636	1.0624
		7	14	24	1.0598	2.3388
		752	797	1864	1.0083	1.0887
		5	12	22	1.9012	2.6364
		162	308	812	1.0961	1.1018
		5	12	22	1.4053	1.8633
		380	534	995	1.0498	1.0642
		4	11	21	2.9213	1.5904
		178	520	827	1.1655	1.0475
			4	14		2.2083
			120	265		1.0824
			1	11		2.2646
			189	428		1.0852



樹冠面積の増加率は経過年数とともに減少する傾向にあり、
 開設後10～20年で約6.5%、20～30年で4.5%、30年で3.5%程度である。

図1 樹林率増加率の推定